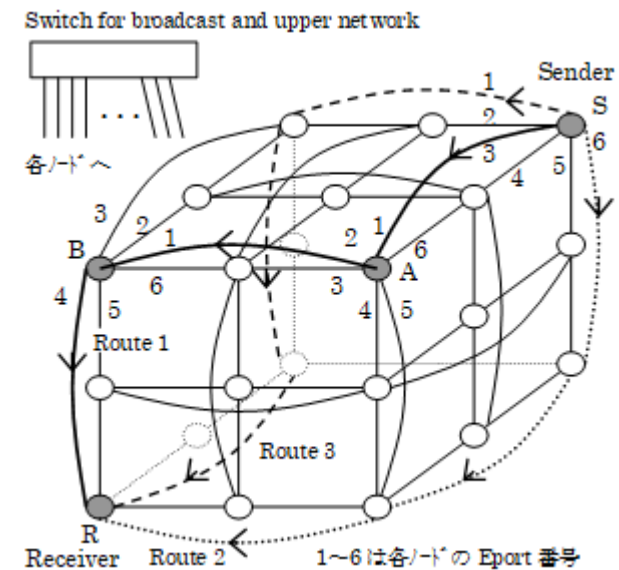


迂回路付き完全網PCクラスタの試作

情報システム技術科 教授 福永 隆文

マルチコア・プロセッサの登場により各PCの計算能力は飛躍的に向上し、PCクラスタのノードとしてマルチコアPCが幅広く利用されている。並列処理においてマルチコアPCを用いれば1台のノードで実行できるプロセス数を向上できるが、それに伴い各ノード間の通信量は向上することになる。スイッチを用いずにPC同士を直接接続したクラスタシステムを作り性能が向上することを確認した。現在は拡張性向上のためトーラス状（図）に接続できるクラスタを研究中である。



3次元トーラス状にPC
を接続したクラスタ